

21世紀の中央銀行

日時：2015年6月16日(火) 13:00~17:00
 会場：早稲田大学国際会議場 井深大記念ホール

プログラム

- 13:00~13:10 開会挨拶
- 13:10~13:25 問題提起
 「中央銀行—歴史から現在へ—」
 矢後 和彦氏
早稲田大学商学大学院教授
- 13:25~14:05 基調講演
 「中央銀行とは何か—教科書、実際、挑戦—」
 白川 方明氏
青山学院大学国際政治経済学研究所特任教授・日本銀行前総裁
- 14:05~14:20 休憩
- 14:20~14:40 パネル報告I
 “A New Epoch in Central Banking?”
 Francesco Papadia氏
欧州中央銀行前金融市場局長
- 14:40~15:00 パネル報告II
 “Dual Mandates: Challenges for Emerging Market Economies”
 Tarisa Watanagase氏
タイ中央銀行前総裁
- 15:00~15:20 コメント
 Frank Packer氏
国際決済銀行アジア太平洋代表事務所経済調査・金融市場局長
- 15:20~16:00 休憩
- 16:00~16:45 パネル・ディスカッション
 司会：吉國 眞一氏
早稲田大学総合研究機構客員教授
 登壇者：各講演者
- 16:45~ 総括
 吉國 眞一氏

申込方法

- 定員：400名
- 学生、教職員、一般どなたでもご聴講いただけます。
- 聴講は無料です。
- 同時通訳があります。
- 聴講をご希望の方は、産業経営研究所のホームページより専用フォームにてお申込み下さい。
- 申込締切日：6月12日(金)
- 締切日以降は当日申込となります。
- 定員になり次第締切場合があります。

事前の許可なく録音、録画、講演内容の報道等を行うことはご遠慮下さい。

早稲田大学 産業経営研究所

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1

早稲田大学11号館 3階

TEL:03-3203-9857

E-mail:riba@list.waseda.jp

ホームページ:http://www.waseda.jp/sanken

ごあいさつ

早稲田大学産業経営研究所は、早稲田大学における産業経営の中心的な研究機関として1974年に設立され、今日に至るまで、企業や産業に関する幅広い領域の諸問題について精力的に研究を展開してまいりました。

このたび第23回を迎える「産研アカデミック・フォーラム」は、主に学界の方々を対象として、時代の先端的テーマについて様々な研究分野から報告を行い、広い視野を以て検討することで、問題の本質に迫ることを目的として開催してまいりました。今回の企画は「21世紀の中央銀行」をテーマにかかげ、日本銀行、欧州中央銀行(ECB)、タイ中央銀行、国際決済銀行(BIS)のそれぞれで活躍してこられたセントラル・バンカーの方々をお招きし、現代の金融政策の最先端に切り込もうとするものです。

中央銀行とはいうまでもなく、発券銀行、政府の銀行、諸銀行の銀行として資本主義市場経済の中核を担ってきた機構です。その起源は遠くスウェーデンのリクスバンク(1668年創立)、あるいはイングランド銀行(1694年創立)にまでさかのぼり、各国の経済発展とともに、国民通貨を供給し「最後の貸し手」としての役割を担ってきました。もともと、各国の中央銀行はこれらの機能を最初から十全に果たしていたわけではありません。現実の中央銀行は、政府との対抗、金融恐慌への対応、あるいは国際情勢の変化に応じて進化を遂げてきたのであり、その変化はいまもなお続いています。

特に、近年の中央銀行には「政府からの独立性」が求められる一方で、デフレからの脱却のための通貨供給や物価水準へのコミットメントが要求されるようになってきました。欧州では通貨統合が進展し、各国中央銀行の上にユーロをつかさどるECBが創設される一方で、新興国の中央銀行には次々と新しい期待と要求が寄せられています。我々の記憶にあたりしいリーマン・ショックなど金融危機が頻発するなかで、金融システムを全体として維持する「マクロ・ブルーデンス」や危機に対処するための民間銀行への適切な規制のあり方も世界的な課題になっています。21世紀に入ってから15年を経て、いま改めて「中央銀行のミッションとは何か」が問われているといえましょう。

こうした認識に基づき、今回の産研アカデミック・フォーラムでは日本銀行前総裁の白川方明氏の基調講演に引き続き、セントラル・バンカーのみなさまにパネル報告をいただきます。パネル・ディスカッションでは全報告者が壇上に会してエキサイティングな議論を展開していただきます。

皆さま方のご来聴を、所員一同、心よりお待ちしております。

早稲田大学産業経営研究所
所長 中村 信男

講師略歴

白川 方明氏

1972年東京大学経済学部卒業。1972年日本銀行入行。1990年5月同行信用機構局信用機構課長。1993年5月同行企画局企画課長。1994年5月同行大分支店長。1995年12月同行ニューヨーク駐在参事。1996年8月同行金融研究所参事。1997年12月同行審議役(国際資本市場担当)。2000年6月同行審議役(企画調査担当)。2002年7月同行理事。2006年7月～2008年3月京都大学大学院公共政策大学院教授。2008年3月日本銀行副総裁。2008年4月～2013年3月同行総裁。2013年9月青山学院大学国際政治経済学部特任教授。

■主な著書に「現代の金融政策－理論と実際」等。

吉國 眞一氏

1973年一橋大学経済学部卒業。1973年日本銀行入行。1978年ペンシルヴァニア大学MBA。1987年国際通貨基金(IMF)理事代理。1990年日本銀行国際調査役。同局国際支店長、国際金融課長、次長等を歴任。1998年日本銀行ロンドン駐在参事。2001年国際決済銀行(BIS)入行。同行Special Advisor、アジア太平洋事務所長、Senior Advisorを歴任。2006年新光証券株式会社シニア・アドバイザー。2009年みずほ証券株式会社シニア・アドバイザー。2010年政策研究大学院大学客員教授。2013年みずほ証券サーチ&コンサルティング理事。2013年早稲田大学総合研究機構客員教授。

■日本証券業協会国際関係懇談会議長、金融広報中央委員会委員。

■主な著書に「国際金融ノート」(麗澤大学出版会、2008年)「サウンドマネー」(蒼天社出版、2010年)、「揺れ動くユーロ」(蒼天社出版、2014年)等。

Francesco Papadia 氏

1970, Degree in Law, University of Rome, Dissertation in Public Finance. 1970-1973, Postgraduate Studies in Economics at Istao, Ancona. 1973-1974, Master's Programme at the London Business School. 1974-1979, Economist in the International Section of the Research Department of the Banca d'Italia. 1980-1983, Economic Advisor at the Directorate General for Economic and Financial Affairs of the European Commission. 1984-1998, Different positions at Research Department and Foreign Department of the Banca d'Italia. 1998-2012, Director General for Market Operations at the European Central Bank. Currently, Mr. Papadia is the Chairman of Prime Collateralised Securities, affiliate fellow of Bruegel, and consultant to a hedge fund and to a Swiss Bank. He also lectures at different universities.

■Publications: Mr. Papadia has published numerous articles and books on: monetary economics, international economics, international finance, and economic development.

Tarisa Watanagase 氏

Ms. Watanagase received her B.A. and M.A. from Keio University, Japan and Ph.D. from Washington University, St Louis, U.S.A., all in Economics. She joined the Bank of Thailand in 1975 and was Governor between 2006-2010. Her long career at the bank included responsibilities in economic research, money market operation, payment systems, banking sector policy and supervision, and monetary policy. She also worked as an economist at the International Monetary Fund, Washington D.C. between 1978-1990 and participated as an IMF-World Bank FSAP independent assessor in 2002. She was instrumental in the 1997 Thai crisis resolution and the ensuing supervisory and financial sector reforms, the establishment of the Thai Real-Time-Gross-Settlement (RTGS) system in 1995, the first in Asia, to eliminate settlement risk in high-value fund transfers, and the passage of the new BOT Act in 2008, which guarantees the central bank's independence.

■Ms. Watanagase speaks extensively on central banking and financial sector issues and is a member of the board/advisor to several public and private organizations, both domestic and international.

Frank Packer 氏

Mr. Packer received his Ph.D. from Columbia University; an MBA from the University of Chicago and a B.A. from Harvard University. Currently, he is head of Economics and Financial Markets at the BIS Representative Office for Asia and the Pacific. Before moving to the Hong Kong office, he was head of Financial Markets in the Monetary and Economics Department, and editor of the Bank's Quarterly Review of International Banking and Financial Market Developments. Prior to joining the BIS in 2003, he worked for the Federal Reserve Bank of New York and Nikko Citigroup in Tokyo.

矢後 和彦氏

1992年東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。1996年パリ第10大学大学院博士課程修了(歴史学博士)。1992年東京大学経済学部助手。1993年10月東京都立大学経済学部講師。1996年同校経済学部助教授。2001年同校経済学部教授。2005年首都大学東京経営学系教授。2011年早稲田大学商学大学院教授、現在に至る。

■政治経済学・経済史学会理事・研究委員長、社会経済史学会常任理事、日仏経営学会理事等を務める。

■第17回(2000年)渋沢・クローデル賞受賞(「フランスにおける公的金融と大衆貯蓄 預金供託金庫と貯蓄金庫 1816-1944」(東京大学出版会、1999))。

■主な著書に「国際決済銀行の20世紀」(蒼天社出版、2010年)、「The Financial History of the Bank for International Settlements」(Routledge、2012)等。

産研アカデミック・フォーラム会場案内図

- 会場 早稲田大学国際会議場「井深大記念ホール」
- 交通案内 ★JR山手線/西武新宿線・高田馬場駅から都営バス早大正門終点下車(徒歩5分)
★東京メトロ東西線・早稲田駅(徒歩10分)
★副都心線・西早稲田駅(徒歩15分)
★都電荒川線・早稲田駅(徒歩5分)

